

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	131402		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。					
事務事業名	知的障害者地域生活総合支援施設建設補助事業		担当部局・課	健康福祉部 障害福祉課				
事業内容	第4次総計、第2次事業実施3か年計画に基づき、（仮称）知的障害者地域生活総合支援施設を整備を図るため事業主体となる社会福祉法人いたみ杉の子に補助する。		事業開始(予定)年度		評価結果 B 上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。			
			平成17年度					
この事業の上位施策		視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
		項目	きめ細かな地域福祉の推進					
		施策	障害者の住まいに関する福祉の充実					
⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。								
事業の目的	知的障害者の自立を促進するため、母体となる入所施設の機能に加え障害者自立支援法に基づく新体系にて、障害のある人が住み慣れた地域の中で育ち、暮らし、働くことをめざした基盤整備を図る。			予算費目 （複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）	（款） 民生費 （項） 障害福祉費 （目） 障害福祉総務費 （事項） 地域福祉対策費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)				
	事業費	40,039千円	財源内訳		事業費	272,961千円	財源内訳	
			国・県補助金等	—			国・県補助金等	—
			市 債	—			市 債	—
			その他(使用料等)	12,760千円			その他(使用料等)	27,240千円
			一般財源(市税等)	27,279千円			一般財源(市税等)	245,721千円
	投入人員	0.15人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.15人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
	人件費	1,285千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	1,285千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
	経費合計	41,324千円		経費合計	274,246千円			
活動指標	指標名(単位)	整備率（％）			計画と実績	年度	H17年度	H18年度
	意味・算式等	施設整備の進捗率				区分		
						計画値	40	100
					実績値	5		

評価結果	B
	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。